

平成28年度 学校自己評価システムシート (県立宮代高等学校)

目指す学校像	生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させる 2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる 3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の基礎学力や学習意欲・学習習慣を把握するため、「基礎力診断テスト」を実施している。基礎学力は向上傾向にある。 定期考査前の勉強マラソン、部活動勉強会、指名補習や学習サポーターによる個別支援等を行っている。 「学力向上に関する小委員会」からの提案を実行し、検証する必要がある。 学力上位層の学力伸長のための取組を検討し、実行する必要がある。 	基礎学力向上のための取組を充実させ、併せて学力上位層の学力伸長のための体制を確立する。	<ol style="list-style-type: none"> 習熟度別授業などの授業内容の検証を継続的に行い、改善する。 これまでの取組(勉強マラソン、部活動勉強会、学習サポーターによる個別支援、授業への取組3割評価、指名補習)を継続し、充実を図る。 学校全体で朝学習を実施し、検証を1学期中に行い、改善する。 学力上位層の進学対応力育成のための進学補習体制の整備を行うとともに、スケジュール管理の手法を活用するなどして、学習習慣を確立する。 	<ol style="list-style-type: none"> アンケートで「授業が理解にできるようになった」と回答する生徒が前年度より増えたか。 各学期の成績不振者数が、前年度の2割減以上であったか。また、勉強マラソンへの参加者数が前年度を上回ることができたか。 生徒が集中して取り組むことができたか。また、基礎学力診断テストの結果が向上したか。 成績上位層の生徒を伸ばすサポート体制が確立できたか。また、基礎学力が定着したか。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> これまでの丁寧な生徒指導により、問題行動の件数や欠席者数が大きく減少し、落ち着いた雰囲気になっている。遅刻者数の更なる減少に向け、取り組む必要がある。 早期からの進路意識の醸成に向けた取組を実施している。 部活動や生徒会活動の活性化により、生徒の活躍の場が充実してきている。 生徒の学校生活の支えとして、教育相談体制を確立する必要がある。 	全教職員で「育てたい生徒像」を共有し、目的意識・規範意識を持ち、主体的に行動できる生徒を育てるとともに、生徒の健全な学校生活を支援する体制を整える。	<ol style="list-style-type: none"> 年間を通じて、登校指導、校内巡回、整容指導を計画的に実施する。 欠席・遅刻・早退者数を減らす取組を行い、生徒の基本的な生活習慣を確立させる。 早期から進路意識を育成するとともに、「個に応じた進路指導」を継続し、充実させる。 部活動、生徒会活動への積極的参加を促す。運動部ミーティングや文化部フェスタを充実させる。 教育相談連絡会を発足し、4月から、スクールカウンセラーや特別支援巡回支援員と連携し、教育相談体制を確立する。 	<ol style="list-style-type: none"> 足並みをそろえた指導を行うことができたか。また、問題行動件数が前年度を下回ったか。 欠席・遅刻・早退者数が、前年度の2割減になったか。出席状況に改善が見られたか。 1、2年生の進路意識が高まったか。また、3学年において大学・短大・専門学校・就職等の希望に応じた進路選択が適切に行われたか。 部活動の定着率が高まったか。各イベントが成功したか。 相談体制が確立し、中途転退学者数の減少に寄与したか。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> 町唯一の高校として、中学校、町教委、商工会との連携が深まってきている。 地域でのボランティア活動への積極的な参加により、地域からの信頼感が増してきている。 H Pによる情報発信の充実により、昨年度22万件超のアクセスがあった。 充実した学校説明会の実施により、目的意識を持って受検する志願者が増えた。 	保護者、地域、関係諸機関との連携を深め、積極的に情報発信し、安定的な志願状況を確立する。	<ol style="list-style-type: none"> 年間を通じて、保護者が参加する行事を増やし、保護者との連携を強化する。 宮代町の3中学校、町教委と学習指導、生徒指導等で連携を強化する。また、部活動での連携を進める。 自治会、商工会等と連携し、地域でのボランティア活動へ積極的に参加する。 部活動や学校行事等の情報をH Pで積極的に発信する。 年7回実施する学校説明会等の工夫改善を行い、生徒募集活動の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 前年度より行事数が増えたか。また、参加者が増えたか。 中学校、町教委と連携した取組を検討し、実施できたか。 ボランティアや交流活動の参加数が増えたか。参加者数が、前年度より増加したか。 恒常的なH Pの更新ができたか。また、アクセス数が引き続き20万件を超えたか。 学校説明会等の参加者数が前年度を上回ったか。また、本校志願者の9割以上が学校説明会に参加したか。 			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			